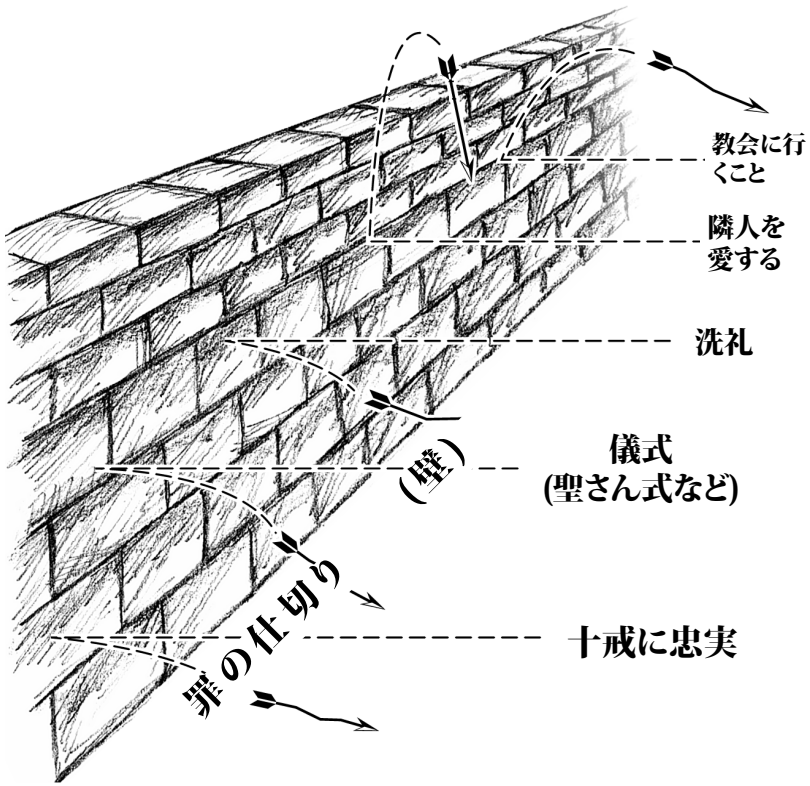
人の努力はすべて無効

私たちは常に神との断絶の仕切り(壁)を乗り越えたいと思い、その努力に励みがちです。例えば、教会へ行って洗礼を受けるとか、良い行いをするとか、隣人を愛するとか、儀式を守るとか、教会などに加わるとかいったような事です。残念ながら聖書は、どのような努力をもってしても神と人との仕切りを取り除くことができないと教えています。



聖書は教えます。

> 「私たちはみな汚れた者のようになり、私たちの義はみな、汚れた着物のようです。」 (イザヤ書64章6節)

罪を取り除くためにいろいろする努力はむだのようです。ちょうど自分の汚れた顔をふくのに、油まみれの手ぬぐいを使うようなものです。人は自分の罪を取り除き、自分と神とを隔てた壁を乗り越えるのにふさわしい物は何も持ち合わせていません(参照聖句、ハガイ書2:12―14;ルカ伝18:10―14;ローマ人3:20、27―28、4:5;ガラテヤ人3:10―11、21)。

この同じ聖句で、イエスはいったいだれがすべてにまさって偉大だと言っているのですか。

(答)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

いったい神のみ手から奪い取ることができる者がいるでしょうか。

(答)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

自分は神より偉大だと思いますか。

(答)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

この聖句に照らし合わせて考えると、すでに、キリストを救い主と信じてから、自分のなかにまだ許されないで神の永遠の怒の対照となる罪の何かが残っていると思いますか。

(答)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(他の永久保証の聖句、ローマ人8:37-39、エペソ人1:13-14、ヨハネ伝6:37-40、ヘブル人13:5)

それでは罪を気にしないでおかし続けるのですか。

いかなる罪も、一度心から信じた者から永遠の命を奪い取ることはできませんが、罪をおかし続ける結末は、この世においても来たる世においても明らかに破壊的です。

第一に、罪の因果というものがあります。たとえば、大酒飲みは病気になって死ぬかもしれません。あるいは、泥酔運転で交通事故をおこして人を巻添えにするかもしれません。あるいは、不道徳な性行為によってエイズに感染し、死ぬかもしれません。キリストを救い主として受け入れることによって地獄から救われるかもしれませんが、罪のおろかさの結果を刈り取らなくてすむという保証はありません(ガラテヤ人6:7-8、ヤコブ2:14-17)。

第二に、罪は来たる世にも影響します。これはちょうどスポーツ観戦の無料キップをもらった時のように、競技場に入場するのは保証されています。しかし、前列の席か、後列の席かまでは保証されていません。これと同じように、イエス・キリストを信じる信仰によって永遠の命を与えられた者は天国の道を保証されています。しかし、天国において高揚されるかどうかまで保証されていません。天国における位置付けは、わたしたちが平素行なっているこの世での行為が神のみ心にかなうかどうか、その度合によって決まるのです(第1コリント人3:11-17、9:24-27、第2コリント人5:10-11)。この世での罪の快楽は、後の世での天の報いを待つことよりも、しばしば魅力的な力があります。み言葉は、神から与えられた特権(天での報い)を、この世の一時的な罪の快楽のためにないがしろにする者は、悔い改めが先に立たないと教えています(ヘブル人12:14-17、ルカ伝19:11-27、マタイ伝25:14-30)。